

## 福知山線列車事故献花行動



4月25日(木)、JR連合は福知山線脱線事故慰霊献花行動を行い、貨物鉄産労からは橋爪書記長が献花を行いました。あらためて、事故により尊い命を失われた107名の御霊に、心よりご冥福をお祈りするとともに、お身体や心に大きな傷を負われ、今なお苦しんでおられる多くの皆様に一日も早い回復をお祈り申し上げます。

福知山線列車事故跡地にある「祈りの杜」は、事故の記憶を風化させないために、お亡くなりになられた方々の慰霊・鎮魂の場として、また将来にわたり事故の痕跡を保存し、命の尊さを後世に伝え続ける場として設けられ、慰霊碑には、事故の概要や反省・安全の誓いが記されています。

当日は、大阪市内において、JR西労組が主催する「2024年事故を決して忘れず、安全を誓う集い」が開催され、安全の確立を運動の最優先課題に位置付け、事故が取り返しのつかない悲劇を生むという事実を決して忘れることなく、二度と悲劇を繰り返さないために今後も取り組んでいく決意をし、集いでは、航空連合の長谷川樹事務局長による基調講演「安全・安心への取り組みについて」を拝聴し、安全文化醸成の為の「2.5人称の視点」の発想と「心の習慣」を身につける大切さを学び、更なる安全性向上に取り組むことを誓い合いました。

尚、「安全を誓う集い」の前段に、JR連合第3回安全対策会議を開催し、JR各社で起きた事象や労働災害の情報共有と、今後の安全対策について話し合うと共に、安全シンポジウム開催内容・安全対策委員会からの新中期労働政策ビジョン改定に向けて協議しました。

**日々の業務は安全最優先でお願い致します**

**安全に終わりはありません**